令和6年度 森林環境譲与税の用途について（伊賀市）

事業名	事業費 (千円)	事業内容	実施面積等	総括
森林経営管理意向調査業務委託	17,820	森林経営管理法に基づき、経営管理権集積計画対象森林の森林所有者に対し、当該集積計画対象森林についての経営管理の意向に関する調査を行った。	意向調査1760.93ha	<p>●今年度より新たな取組として『テナント・店舗等木質化モデル創出事業』補助金制度を実施した。</p> <p>●昨年度に引き続き未整備協定林の整備事業、境界明確化事業、伊賀産材ブランド化事業補助金及び緊急間伐・搬出間伐推進事業補助金を継続して実施した。また、森林作業道整備事業補助金制度においては今年度も当初の想定を超える補助金申請があり、多くの作業道の整備を支援することができた。</p> <p>●行政及び林業事業者等で構成する伊賀市未来の山づくり協議会へ今年度も伊賀市負担金の支出を行った。協議会では、地域団体による魅力創造事業、自伐型林業者の育成・支援を目的として持続的な林業経営を確立するため、安全伐倒講習会の開催、また新たな事業として林業機械の導入、林業研修や資格取得等に対する支援策の検討等を行った。</p> <p>●その他事業として、地域産材を用いて新たに市が所管する施設の整備を今年度は2箇所実施し、道案内看板の設置や林業関係の新図書の購入も行った。</p>
未整備協定林整備調査業務委託	10,769	市、森林所有者及び林業事業者で環境林として協定を締結しているが未整備となっている山林の適正な管理を目的とした間伐施業を行うための調査業務を行った。	標準地調査 426箇所 306.87ha	
未整備協定林整備業務委託	16,049	市、森林所有者及び林業事業者で環境林として協定を締結しているが未整備となっている山林の適正な管理を目的とした間伐施業を実施した。	間伐施業 53.18ha	
伊賀市未来の山づくり協議会負担金	2,259	森林整備・人材育成・担い手の確保・木材利用の促進や普及啓発の取り組みを進めていくことを目的とした伊賀市未来の山づくり協議会の伊賀市負担金を支出した。	—	
三重県林業普及協会負担金	10	三重県林業普及協会 会費10,000円	—	
森林境界明確化事業補助金	12,590	境界を明確にすることをにより、計画的かつ適切な森林整備の推進を図ることを目的とし、森林境界明確化等の地域活動を行う者が、市との協定に基づき行う森林境界明確化に要する経費を補助した。	森林面積 279.79ha	
伊賀産材ブランド化事業補助金	1,003	伊賀産材のブランド化を目指し、市内出荷及び利活用の促進を図るため、市内の森林を伐採して市内の原木市場や製材所等へ原木を出荷する者に対して補助金を交付した。	出荷材積 2,006m ³	
緊急間伐・搬出間伐推進事業補助金	1,268	伊賀市内の森林の適正管理を推進し、森林の持つ多面的機能を持続させるため、間伐作業をされる森林所有者の方等に補助金を交付した。	間伐本数 3,893本	
森林作業道整備事業補助金	14,839	林業施業及び木材の集材・搬出を促進するため、市内の森林作業道の整備を行う者に対して補助金を交付した。	作設：14,108.5m 改修：1,461m	
テナント・店舗等木質化モデル創出事業補助金	568	多くの市民が利用する店舗等において、木質化等により伊賀市産木材を積極的にかつ効果的に活用する取組みを行う者に対して補助金を交付した。	1件	
歴史的風致維持向上計画進捗管理事業（文化財課）	787	歴史的風致維持向上計画の重点区域である阿保地域の初瀬街道の街道案内看板を地域材を用いて作成し設置した。	木材使用料 0.124m ³	
図書館管理経費（上野図書館）	112	森林や林業に親しみ身近に感じ理解を深めることや林業の人材育成を目的に森林や林業に関する図書や雑誌を購入し、貸出・閲覧を通じて市民に提供した。	図書：40冊 雑誌：16冊	
長田地区市民センターフローリング木質化（上野支所）	3,650	センター入口の外壁、ホールおよび会議室等の一部の床のフローリングを県産材を使用した。	実施面積 フローリング：168m ² 外壁：13.3m ²	
教育研究センター西側法面修繕工事（教育委員会）	125	センター西側の法面修繕工事を実施。斜面から土砂の落下を防ぐため、法面に県産板柵を使用・設置をし、掘削及び整形を行った。	法面：27m	
人件費（会計年度任用職員）	1,235	業務が円滑に進み、新たな施策の実施などの推進を図ることを目的として林業事務に係る事務補助員を雇用した。	—	
需要費（消耗品費）	75	検査用備品等の購入	—	
合計	83,159			